

全国初！市内のお米（資源米）を原料に指定ごみ袋の導入へ

原料となる「資源米」の稲刈りを児童が実施します



デザインが
変わります

本市は、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの利用を推進しています。

今年度、本市としては初めて「お米が原料のバイオマスプラスチック製のごみ袋」を導入することとなりました。

つきましては、ごみ袋の原料となる資源米（非食用米）の稲刈りを、潟東小学校児童と合同で実施しますので、広報にご協力頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

※市町村内で栽培したお米を原料にした、市町村の指定ごみ袋導入は、「全国初」です。

記

1 日時 令和5年9月8日（金）午後1時30分から ※雨天時は学校で環境教室

2 場所 西蒲区井随地域（株）やまがら生産圃場

3 出席者 新潟市長 中原八一

（株）バイオマスレジマケティング 代表取締役社長 山田真

潟東小学校（5年生）38名

4 次第

(1) 開会（13:30）

(2) 市長コメント

(3) 稲刈り実施

・（市長、バイオマスレジマケティング山田社長、児童代表）による、手刈り実演

・潟東小学校児童による、コンバイン稲刈り（交代で運転）

(4) 記念撮影

(5) 閉会（14:00）※閉会后、学校にて環境教室を開催します

5 備考 バイオマスごみ袋の詳細等については、別紙「事業概要」

取材希望の場合は、別紙「取材申込書」にて申し込みください

～お米づくりから派生するゼロカーボンへの挑戦～

取組内容

●お米（資源米※）の生産 ※非食用米

新潟市内でお米のバイオプラスチック用の資源米を生産

- ・農地所有適格法人 株式会社やまがら（西蒲区）
- ・農事組合法人 あげぼのクラブ（江南区）

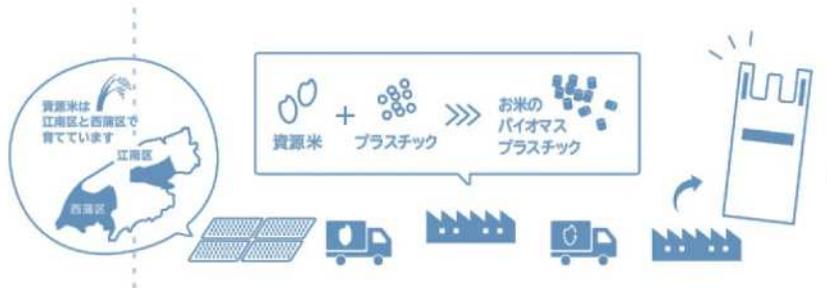
●新潟市内の資源米を使った「指定ごみ袋」導入

生産した資源米を使った「指定ごみ袋（20ℓ・小）」導入

- ・「指定ごみ袋（20ℓ・小）」を令和5年度内に500万枚（低密度バイオポリエチレン、新潟市産の米10%配合）

ごみ袋ができるまで

西蒲区と江南区で育てた「お米（資源米）」が、工場でお米のプラスチック「ライスレジン®」になり、それを原料とした「新潟市の家庭用ごみ袋」に生まれ変わります。



市民のみなさんがこのライスレジン製ごみ袋を使う事によって、これまでより「二酸化炭素の排出を10%抑制」することができます。

●新しいごみ袋のデザインイメージ（案）



← 持ち手部分に稲穂をデザイン

← お米のごみ袋に変わる理由や効果

← 「バイオマスマーク」「ライスレジンマーク」

各販売店をとおして、購入いただけるのは、2024年4月頃予定

9月7日（木）午後3時までメールまたはFAXにてお申し込みください。

E-mail junsui@city.niigata.lg.jp

FAX 025-222-7032

新潟市環境部循環社会推進課 行

9月8日（金）13：30～ ごみ袋の原料となる「お米」の稲刈り

取材申込書

社名		
連絡先	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	

【注意事項】

児童撮影に際して、留意事項があります。（当日、市職員に確認の上、撮影願います。）

【案内地図】

